

# 東洋学園

## 東洋学園の校友をつなぐ

# だより

平成  
28  
年  
Vol.5

### CONTENTS

- 原田学長からのメッセージ ..... 1
- 新たな取り組み／90周年イベント ..... 2
- グローバル教育／学園祭／学生団体の活動 ..... 3
- 教員インタビュー ..... 4
- 社会で輝く卒業生／東洋学園の歴史 ..... 5
- 大学院 ..... 6
- 教育振興資金のお願い／入試 ..... 7
- インフォメーション ..... 8

### 原田学長からのメッセージ

## 「学園全体で教育と向き合い より良い文化を育んでいきたい」

東洋学園大学の学長に就任して約2年半が経った原田規俊子先生。  
キャンパス統合を成し遂げた今、次に掲げる目標は「教育の充実」と語ります。  
その実現のためには、校友の皆様のお力添えも欠かせません。



東洋学園大学学長  
**原田規俊子**  
明治大学大学院文学研究科修士課程修了。  
東洋女子短期大学学長、本学の副学長を経て、2014年より現職。日本英文学会、現代演劇研究会所属。専門分野は英米の演劇。

### 伝統を継承しつつ、教育の充実を

この2年半を振り返ってみると、やはり一番の変化は2016年度の入学生から全学部を東京・本郷キャンパスへ統合したことです。3学部が一つの場所で学ぶメリットは徐々に表面化してきており、さまざまな個性を持つ学生が授業や学生生活を共にすることで、良い刺激を与え合っている様子が見取れます。

また、東京を拠点にしたことでオープンキャンパスに訪れる高校生も増え、学生募集にも好影響を与えていると実感しています。これを維持していくために、次は在学生の満足度を上げる施策を考えていかねばなりません。そこで必要になってくるのが、教育の充実です。

教育を充実させていくには、「今、何を教えるべきか」を教員一人一人が把握し、それを学生のニーズと融合させて、授業を実践していくことが求められます。教員には自身の研究を深めるとともに、授業内容の改善や教える技術・方法の向上に努めていただきたいと考えています。今の時代、ただ黙々と90分間の講義を行うだ



キャリア教育の授業では、卒業生がゲスト講師として登壇し、就職活動や社会人生活の実体験を伝えたり、質疑応答を行うことも

けでは充実した教育とはいえません。学生たちに寄り添い、学生一人一人が主体的に参加できるような授業にしていく必要があるのです。本学は伝統的に学生と教員の距離が近い学校と言われており、それはスケールが大きすぎない学校だからこそできることです。その伝統を本学の特色として受け継ぎながら、より良い教育を目指していきたくと考えています。

### 学びの内容やコース編成も随時改新

今年90周年を迎えた本学は、100周年に向けて教育の改革に力を入れており、「現代経営学部」では2016年度の入学生より一部コースを改編しました。「グローバル・コミュニケーション学部」では2017年度の入学生から、「人間科学部」では2018年度の入学生から、コース再編やカリキュラム改編を予定しています。

また、3学部が東京・本郷キャンパスに揃ったことを受け、今後は「フェニックス・チャレンジプログラム」をより発展させたいとの思いもあります。この「フェニックス・チャレンジ・プログラム」とは、学部の垣根を越えて、目指す将来に必要な科目を学べる新しい履修モデルのことです。たとえば、「グローバル・コミュニケーション学部」で児童英語教育について学んでいる学生なら、「人間科学部」の児童心理学や発達心理学にも興味を持つでしょうし、自分で小さな英語塾をやりたいとなれば「現代経営学部」で経営学を学びたいと思うかもしれません。将来をしっかり見据えるほどに、どうしても一つの学部の学びだけでは完結しなくなるのです。ですから、そうしたニーズに応える環境作りにも力

を入れて、学生の満足度を上げていく必要があると考えています。

### より良い文化を育んでいくために

学生を教育し、社会に貢献できる人間へと育て上げることは、我々教育者の責任だと思っています。大学というのは決して就職の予備校ではありませんが、学びをキャリアへとつなげていくサポートは必要だと考えています。

その具体策として、本学ではキャリアセンターが親身になって学生一人一人とコンタクトを取り、就職状況を確認するという取り組みを東洋女子短期大学の時代から受け継いでいます。また、近年ではキャリア教育にも力を注いでおり、1年次の「キャリアのススメ」では学生本人が自分の可能性に気付くきっかけを作ったり、3年次の「キャリアデザイン」では社会人のロールモデルとして卒業生や職員をゲストに招き、質疑応答する機会を設けたりもしています。

このように、教員、職員、卒業生を含め、学園全体が一丸となって教育に向かっていかなければ「東洋学園の文化」というのは形成されていけないと思うのです。ですから校友の皆様にも、ぜひ在学生とつながりを持っていただきたいと思っています。経験豊かなOB・OGの方も多くいらっしゃるの、そのご活躍ぶりを在学生に伝えたいという思いもありますし、「こんなに素晴らしい先輩がいるなんて、この学校に入ってよかった」と誇りに思う学生も出てくることでしょう。そして、OB・OGの方々が「一緒に学校を盛り立てよう」という気持ちになってくださることは、私達にとって何よりの喜びでもあります。

新たな取り組み / 90周年イベント

# 創立90周年を迎えた今、100周年へ向けてさらなる進化を

今年11月、旧制東洋女子歯科医学専門学校の創立から90周年を迎える本学。その伝統を受け継ぎながら、100周年に向けて進化を続ける各学部の様子や90周年を記念して行われたイベントについてお伝えします。



### グローバル・コミュニケーション学部

#### 世界についてより深く 広く学べる学部へとリニューアル

国境を越えて活躍できる真の国際人の育成を目指す「グローバル・コミュニケーション学部」。同学部には、グローバル・コミュニケーション学科と英語コミュニケーション学科の2学科がありますが、2017年4月よりグローバル・コミュニケーション学科のコースを再編し、「国際関係コース」、「グローバル協力コース」、「グローバル交流コース」の3コース構成にリニューアルする予定です。これにより、今まで以上に専門領域が明確になります。

また、2学科どちらからでも履修できる学科共通科目を大幅に増設し、学びの選択肢を拡大。さらに、世界と深くつながるための新科目や実践的な授業も導入し、よりグローバル性の高い学部へと進化させていきます。



授業で身につけた知識や語学を深める機会として、世界各地での学外研修も実施。写真はラオスでエコツアーを体験する学生たち

### 現代経営学部

#### ニーズに合わせたコース改編や 時代が求めるプロジェクトを実行

2016年4月より谷本信教授が学部長に就任し、新たなスタートを切った現代経営学部。今年度から経営学専攻の「起業ショップコース」が「起業ショップ・経営者二世コース」へとリニューアルし、事業を継続・発展させるためのノウハウも学べるようになりました。

また、本庄加代子講師による「プロジェクトマネジメント」では2020年を見据えたインバウンド人材育成にも力を入れており、履修学生たちが外国人観光客に英語で書道を教える「SHODO Experience」を5月と7月に実施。旅館 澤の屋を舞台に、学生たちはカタコトの英語とジェスチャーを駆使して書道を教え、参加した外国人からは「日本の若者の新たな一面を知った」など賞賛の声が相次ぎました。



「SHODO Experience」では、英語で書道を教えたほか、折り紙など日本らしいギフトも用意して外国人をおもてなしました

### 人間科学部

#### 東京・本郷と千葉・流山の両方で 積極的に地域連携活動を実施

2016年度の入学生から、4年間を通して東京・本郷キャンパスで学ぶことになった人間科学部。早くも地域と連携した活動を進めており、7月には「人間と犯罪ゼミ」「地域共生特講1(本郷)」(宮久栄教授)の履修学生が本郷キャンパスの地元である大横丁通り商店街の納涼祭にボランティア参加しました。学生たちは子ども向けの出店や運動会を企画・運営し、近隣住民と一緒に納涼祭を盛り上げました。

一方、流山での地域連携活動も継続中。流山市の依頼で「ヒューマン・サービスゼミ」(福田佳織教授)の学生が市立江戸川台保育所のフェンス絵を制作しました。

なお、人間科学部では2018年度にコース再編やカリキュラム改編を予定しています。



大横丁通り商店街の納涼祭では、子ども向けの運動会を企画・運営。運動会を通じて、住民同士の交流も活性化しようです

### 文部大臣・学長 愛知揆一と1964年オリンピック東京大会

# 1964 → 2020 ~情熱の記憶を次の世代へリレーする~

#### 創立90周年を記念して、特別イベントを実施

東洋学園第6代学長(短大第2代学長)愛知揆一は、1964年の第18回オリンピック東京大会当時に文部大臣を務め、同オリンピック組織委員会の理事として運営に携わりました。その愛知揆一ゆかりの東京オリンピックコレクションを公開する特別イベントを開催しました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開会式に合わせ、7/24(日)に幕を開けた本イベント。本郷キャンパス1号館の特設ステージには聖火リレーで使われた本物のトーチが展示され、直接手に取って写真撮影

もできるとあって、本学の学生はもちろん一般の方や卒業生も多く見学に訪れました。また、NHK「首都圏ネットワーク」などで紹介されたほか、新聞記事でも取り上げられ、注目度の高さがうかがえました。



イベント期間中は、本郷キャンパス1号館1階の特設ステージにトーチや衣装、五輪旗などを展示しました

テレビ朝日「スーパーJチャンネル」(写真左、7/25(月)放送)や朝日新聞(写真右、8/2(火)掲載)などでもイベントの様子が紹介されました

グローバル教育 / 学園祭 / 学生団体の活動

# ますます充実するグローバルな学び

留学や海外研修、アメリカの大学との交流など、グローバル教育の充実に力を入れる本学。今回は、2014年にスタートした国際キャリアプログラム(ICP)の今をお届けします。

## ICP



### 留学を終えた1期生が帰国し 8月からは2期生が留学先へ!

国際キャリアプログラム(ICP)の最も大きな特長は、1年間の海外学部留学を目指すこと。その海外学部留学を成し遂げた、森山紗稀さんからICP1期生が先日帰国しました。

昨年9月から1年間、カリフォルニア州立大学チコ校に留学し、政治学や国際関係学を学んできた森山さん。「英語力に加え、自立心や行動力も身についたと思います」と自ら実感している通り、留学を通じて一回りも二回りも成長した様子がうかがえます。

一方、今年8月からは、佐藤ささ(アイシャ)さんからICP2期生が海外学部留学へと旅立ちました。佐藤さんの留学先は、ノースアラバマ大学。出発前、留学という未知の体験の前に不安を抱える佐藤さんに、先輩である森山さんはこんな言葉をかけていました。

「充実した留学生活を送る秘訣は、けじめをつけること。勉強はもちろん、友達と過ごす時間も大切にしたいと思うので、『文武両道』という言葉に胸に『この日は勉強する』『この日は友達と遊ぶ』としっかりメリハリをつけた生活を送るようにがんばってください」

現地で大活躍の友達を作りつつ、勉強に励んできた森山さんは、留学先で専攻していた国際関係学について今後も学びを深めていきたい



写真右 / 森山紗稀(もりやま・さき) グローバル・コミュニケーション学部3年 国際キャリアプログラム(ICP)1期生 2015年9月から1年間カリフォルニア州立大学チコ校に留学し、現在は帰国  
写真左 / 佐藤ささ(さとう・あいしゃ) グローバル・コミュニケーション学部2年 国際キャリアプログラム(ICP)2期生 2016年8月からノースアラバマ大学に留学

そうです。そんな憧れの先輩にももらったアドバイスを活かして、佐藤さんも今頃、留学先で充実した日々を送っていることでしょう。

# 東京・本郷キャンパスでの 3学部合同の学園祭がついに実現

大学開学翌年の1993年にスタートし、24回目を迎えた東洋学園大学の学園祭。これまでは「鮎鱈祭」と題して流山キャンパスで開催してきましたが、キャンパス統合を機に今年から拠点を移し、大学になって以来初めて、本郷キャンパスでの3学部合同の学園祭が実現しました。

晴天に恵まれた10/15(土)・16(日)に行われた「第24回フェニックス祭 一郷郷祭り」。学園祭運営局が中心となり、模擬店の出店や展示、パフォーマンス、現代経営学部のプレゼンテーション大会などを実施しました。

また、「東洋学園創立90周年記念特別企画」として、卒業生講演会や学長講演会、英語スピーチコンテストなども開催。日本人で初めてビートルズ単独インタビューに成功した音楽評論家・星加ルミ子氏(東洋女子短期大学卒)による卒業生講演会では、ビートルズへのお土産として日本刀を機内持ち込みしたなど、今では考えられないような取材秘話も飛び出し、在学生や一般の方々も興味深く聞き入っていました。一方、原田学長による学長講演会では、旧制東洋女子歯科医学専門学校から東洋女子短期大学を



熱気あふれる特設ステージの様子。垂れ幕も学生による手作りです

を経て、東洋学園大学に至る歴史を振り返りつつ、キャリア教育をはじめとした今後の挑戦についてのお話もありました。

その他、地元の方々による舌坂太鼓の演奏などもあり、学生や教職員はもちろん、校友の方々や地域の方々、高校生など大勢の人にご来場いただき、大盛況となりました。

## 学生団体活動レポート 各部活・サークルの活動内容をお伝えします。

### テニス部(男女)

活躍目覚ましい男女テニス部。女子は5年連続でインカレ(全日本学生テニス選手権大会)本戦出場を果たし、シングルスで小松選手がベスト32入り。男子は春関(関東学生テニス選手権大会)で本戦に進出、インカレ予選にも初出場しました。また、8/27(土)に開幕した2016年度の関東大学テニスリーグでは、女子が2部、男子が3部リーグに参戦。強豪校を相手に健闘をみせました。



### 硬式野球部

東京新大学野球連盟の2部リーグに所属する硬式野球部。2016年度の春季リーグでは、5/28(土)に行われた最終戦で首都大学東京に8対1で快勝して全10試合を終え、6勝4敗でリーグ2位という成績を収めました。9/4(日)から始まった秋季リーグでは、2部優勝・1部昇格を目指して奮闘しています。



### ゴスペルサークル

学内外のさまざまなイベントで歌声を披露しているゴスペルサークル「Heavenly Gospel Team(ヘブリーゴスペルチーム)」。6/19(日)には流山市で開かれた地元アーティストによる音楽会に参加。仲間やお客さんと出会えた流山への感謝の気持ちを込めて自作曲「流山」を歌い上げ、地域との絆を深めました。



### ボランティアサークル

今年で設立4年目を迎えるボランティアサークル「EARTHIAN」。主に大学周辺のクリーン活動、文京区・千代田区の社会福祉協議会主催の活動、他大学の学生ボランティア団体との幹事会・交流会などに参加しています。今年からボランティアの幅はさらに広がっており、「メンバーと仲良く楽しく」をモットーに活動に励んでいます。



## 教員インタビュー

## 東洋学園大学とともに歩んできた先生方の今

今回は、これまで多くの卒業生を送り出してきた4名の先生にインタビュー。「授業や部活動を通じてお世話になった」という校友の方も多いのでは？先生方には、思い出話や近況、校友の皆様へのメッセージなどをうかがいました。

## グローバル・コミュニケーション学部

## 河島 弘美 教授

(1978年教員就任。専門分野：比較文学、英米文学)

「それぞれの場所で今取り組んでいることにベストを尽くし、夢を叶えてほしいです」

短大時代の1978年に非常勤となり、当時は本郷キャンパスで教えていました。あの頃の本郷の校舎は迷路のようで、よく迷ったことを今でも時々懐かしく思い出します。4年制大学になってからは常勤となり、流山キャンパスへ通うようになりました。大学の1期生、2期生は意欲のある学生が特に多くて、教える側としても楽しかったですし、最初の頃は人数が少なかったのが今よりさらに教員と学生の距離が近かったように思います。当時は部活の立ち上げも盛んで、バドミントン部の顧問を頼まれて、それ以来ずっと顧問を続けています。

2012年にはアメリカのメイン州に渡り、サザンメイン大学で半年間の在外研究をさせていただきました。私は比較文学と英米文学が専門なので、その研究の一環として行ったのですが、日本であまり知られていないような作家の作品にも触れることができ、それがきっかけである女性作家の翻訳をすることにもなっており、現在取り組んでいるところです。

卒業生の方々は、きっとそれぞれの場所でごんばっていることでしょう。今取り組んでいることにベストを尽くし、ぜひ夢を実現させてください。



## 現代経営学部

## 永井 秀哉 教授

(2006年教員就任。専門分野：企業財務論、金融論、企業統治論)

「どんな局面でも自分で判断・行動できるよう人間力を磨き続けてほしい」

40余年の実業(金融)界での経験に基づいて、実践に役立つコーポレート・ファイナンスや生活に欠かせないマネー学、金融の仕組みを講じてきましたが、相次ぐ企業不祥事を見るにつけ、改めて企業の社会的責任について研究し、企業倫理、コーポレート・ガバナンスや社会正義についても講じてきました。この日本社会が少しでも良くなればと願うことです。

教師として一番嬉しいのは、若い感性が学問に触れて美しく反応する一瞬に立ち会い、知性の成長を見守ることです。今年も立派に成人した卒業生から結婚式の招待状が届きました。

本学の最大の特長は「国際的教養教育(Global Liberal-Arts)」だと思っています。学生一人ひとりにふさわしい生き方を共に考え、国境を超えた人生行路の新局面でも、自分で判断し勇気を持って行動できる人間力(その良識と常識)を高める教育を私なりに目指してきましたが、これからもそれが長く続くことを心から願っています。



## グローバル・コミュニケーション学部

## 木全 睦子 教授

(1989年教員就任。専門分野：英語学、言語学)

「英語・日本語を問わずたくさんの言葉に触れて言葉を大切にしていってください」

短大時代に入職し、当時は主に流山キャンパスで教えていました。その頃は欧米文化学科という学科で、学びの幅が広がったため先生も英語だけでなくいろいろな専門の方がいらっちゃって、リベラルな雰囲気が強かったように思います。学生たちはみんな活気があり、勉強にも真摯に取り組んでいました。

今でもよく覚えているのは、入学したの学生を引き連れてオリエンテーションキャンプに行ったことです。クラスごとに分かれて10台以上のバスを連ね、箱根へ行って1泊したのですが、このオリエンテーションキャンプは教員同士、学生同士、そして教員と学生の距離がぐっと縮まる良い機会だったと思います。大学になった今でも担任制度があり、教員と学生の距離が近いのは、こうした短大時代の伝統が引き継がれているからかもしれません。

現在、授業では基礎英語、英語文化論、英語のしくみなどの科目を担当しています。自身の専門が「言葉」なので、卒業生の皆さんにも言葉への関心は一生持ち続けてほしいと願っています。英語・日本語を問わずたくさんの言葉に触れて言葉のセンスを磨き、言葉を大切にしていってください。



## 現代経営学部

## 長原 和子 教授

(1976年教員就任。専門分野：英語学)

「皆さんの大学生活に少しでも関わったことをうれしく思います」

短大時代に入職し、当時は本郷キャンパスで授業をしていました。さらに、スポーツ科目を履修する学生のために、週に一度流山キャンパスでも授業を担当していました。

その頃は1年に1〜2回、学年全体で文化的な催しに参加する機会があり、歌舞伎や宝塚の舞台、音楽会、お芝居などを観に行きました。やはり、皆が共通の体験をするというのはいいですね。卒業してからも、クラス会などで集まった時の話題になったりしているのではないのでしょうか。

2002年には大学に現代経営学部ができ、最初の2年間は短大の学生を教えつつ並行して現代経営学部の授業も行っていたのですが、2004年からは現代経営学部の専任になりました。現在は主に1年生と2年生の基礎的な英語の授業を担当しています。

ここ最近、短大の卒業生で卒業証明書や成績証明書を取りに来校される方が増えていると聞いています。子育てや介護が一段落して、仕事に復帰されるためのようです。皆さんの大学生活に少しでも関わったことをうれしく思います。



## 社会で輝く卒業生 / 東洋学園の歴史

## 社会で輝く卒業生

旧制東洋女子歯科医学専門学校

## 鈴木 彗子さん

母上も1919(大正8)年に免許を得た歯科医師です。医院は本郷区東竹町(現 本郷2丁目)にあり、鈴木さんは学生時代を桜蔭高等女学校と本学で過ごした本郷生まれの本郷育ち。朝日新聞への鈴木さんの投稿「女性の歯科医生んだ“母校”」(2005年)は、本学の旧制まで遡る年史編纂と史料室設置のきっかけになりました。歯科医業の傍ら、趣味の社交ダンスの普及に努め、さらに歯科23回卒業生クラス会の牽引役も務めています。



鈴木(旧姓:中村) 彗子(すずき・あやこ)

1948年旧制東洋女子歯科医専卒業。卒業後は母校の医局に勤務。戦災で2〜4年次と医局員時代は津田沼校舎に寄宿し、終戦前後の困難な時代に修業と後進の指導にあたった。現在は藤沢市片瀬山の鈴木歯科医院院長。著書に「三つの鍋 母中村村カエの生涯」(装丁:加古里子)。

東洋学園大学

## 石橋 夕帆さん

大学3年生の時に映画の世界に興味を持ち、友人達の協力を得て自主制作映画を初監督。翌年から大学と並行してNCW(ニュー・シネマ・ワークショップ)クリエイターアドバンスコースに通い始め、脚本選考会で選出された『フレックリは浮く。』を監督しました。卒業後も自主映画の制作を続け、2014年には監督作品『ぼくらのさいご』が田辺・弁慶映画祭や横浜HAPPY MUSIC!映画祭で栄誉ある賞を受賞。現在も商業映画の監督を目指して活動を続けています。



石橋夕帆(いしばし・ゆうほ)

2013年東洋学園大学人文学部人間科学学科卒業。大学3年時から自主制作映画の監督を始め、卒業後、監督作品『ぼくらのさいご』が田辺・弁慶映画祭の映画.com賞を受賞、横浜HAPPY MUSIC!映画祭の音楽映像部門最優秀賞受賞にも輝く。今年、テアトル新宿で開催された田辺・弁慶映画祭セレクション2016で特集上映が行われた。

東洋女子短期大学

## 宮城 巳由紀さん

東洋女子短期大学に在学中、アメリカの歴史や社会について学んだのを機に、もっと深くアメリカのことや他の文化も学びたいと思うようになり、大学に編入しました。その後、地元に戻って就職しましたが、海外での経験を積みたいとの考えから、カナダで日本語教師として働くようになりました。



現在は、日本の高校で英語を教えています。今でも東洋女子短期大学で学んだことが生かされています。

宮城 巳由紀(みやぎ・みゆき)

東洋女子短期大学欧米文化学科を卒業。卒業後は跡見学園女子大学文化学科に編入。その後、地元で数年間就職し、カナダにて2年間、日本語教師をした後、地元に戻り公立の高校で現在英語の教師をしている。

東洋学園大学

## 佐藤 愛美さん

小学校4年生から英会話教室に通い始め、「将来はお世話になった先生のようにになりたい」と、英語教育について学べる東洋学園大学を選びました。現在は千葉県内の高校に勤務し、学生たちが英語に興味を持つ方法を常に考え、視覚教材なども取り入れながら英語の授業を行っています。大学時代、児童英語教育課程で学んだ「子どもを惹きつける方法」が現職でも役立っており、「英語をツールの一つとして、世界に目を向けられる人を育てたい」と語ります。



佐藤 愛美(さとう・めぐみ)

2010年東洋学園大学人文学部国際コミュニケーション学科卒業。子どもに英語を教える職業に就きたいと考え、英語のスキルを磨くために東洋学園大学に入学。2010年9月より東京学館船橋高等学校に勤務。現在は3年生の担任を持ちながら、英語の教鞭をとっている。

## 東洋学園の歴史 第4回 東洋学園の創立

東洋学園史料室

本学は10年前の2006年、旧歯科医師法に基づき文部大臣指定認可日1926(大正15)年11月4日を周年起点として創立80周年行事を行いました(式典は2007年)。それ以前は東洋女子短期大学が開学した1950(昭和25)年5月1日を起点に行事を実施していました。

本年11月4日には創立90周年を迎えます。1926年創立は周知の事実になりましたが、第1回卒業式は同年11月5日…… 建学翌日に卒業? 指定認可前の約9年間は「明華(めいか)」という別の名の学校でした。文部大臣指定校・東洋女子歯科医学専門学校の第1回生は、4年6ヶ月の在学期間のほとんどを明華女子歯科医学専門学校の学生として過ごし、校名改称は卒業の24日前です。言い換えれば明華女子歯科医専の第1回入学生(1922年入学)が、東洋女子歯科医専の第1回卒業生でした。



明華女子歯科医学講習所の開校は1917(大正6)年9月12日。同年から公式創立年の1926年まで9年間を創立期として、今年は創立90周年、2017年は前身校開校100周年です。当室は2年4期連続で創立期を特集します(8面参照)。

1919年12月、現在の1号館裏手で撮影された明華女子歯科医専第1回卒業式の写真。新巻坂の開通は震災後のこと、当時は巻坂(大横丁)が表通りでした。北は北海道から西は広島、鳥根まで、卒業生19名の出身地は全国に亘ります。

## 大学院

実務に直結した経営学の学びの場

東洋学園大学大学院  
現代経営研究科 現代経営専攻修士課程

東洋学園大学大学院は、国際資格であるファイナンシャル・プランナー（FP）のCFP®認定教育プログラム実施大学院として現在申請中（2017年度4月開始予定）です。母校でのキャリア・アップ、学び直しを検討してみたいいかがでしょうか。

本年4月から研究科長に就任した横山和子です。1990年から本学で教えています。授業を受けたことがある卒業生がいるかもしれません。世界が複雑化する中、社会は実力のある人材を求めています。2008年に開設された大学院は、定員10名と小規模ですが、丁寧な指導体制を堅持しながら、社会に役立つ人材を輩出しています。

本大学院は現在、国際資格であるファイナンシャル・プランナー（CFP®）の認定教育プログラム実施大学院として2017年4月よりプログラムを開始するべく準備を進めています。大



学生の研究発表

学院で所定の課程を修了すると、経営学の修士号と共に、AFP資格（Affiliated Financial Planner、FP2級と同等か超えるレベル）を取得することができます。AFP資格を持つと、金融機関への応募・勤務に非常に有利となります。

東洋女子短期大学を卒業後2年以上の実務経験がある方は、大学院受験を是非ご検討ください。大学院では科目履修に加え、指導教員から専門研究分野の修士論文を執筆するための指導をマンツーマンで受けることができます。現在学んでいる学生のバックグラウンドはさまざま、短大卒業後に金融機関を経て母校で学び直す学生、子育てをしながら大学院で学ぶ学生などがいます。

大学院では、興味ある科目を1科目から聴講できる「科目等履修生制度」や、「学費月払い制度」を設けています。仕事を持つ大学院生の希望に応じながら、一部授業を平日18時以降や土曜日に受けることができる体制も整えています。また、英語スキルの向上のため学部の英語科目を聴講できる制度や、現代経営学部の専門科目を聴講できる制度もあります。



学生への指導

大学院の受験に必要な研究計画書、志望理由書の作成方法を助言する出願対策講座は11月20日(日)に開催されます。また、12月11日(日)に開催される経営セミナー後には個別の進学相談を行います。

母校でのキャリア・アップ、学び直しを是非、検討してください。お待ちしております。

東洋学園大学大学院 現代経営研究科 研究科長 横山和子

## 現代経営研究科の特徴

## ■専門研究分野（一例）

経営戦略、マーケティング、人的資源管理、経営組織論、ファイナンス、会計、日本の経営システム、グローバル人材開発、グローバル経営、国際経済学、労働経済学、環境経営、労働と所得格差、介護ビジネス、スポーツ・ビジネス、デザイン・マネジメント、ソーシャル・ビジネスほか、多彩な研究分野から関心のあるテーマについて学術論文を書くことができます。

※大学院ホームページで過去の修士論文タイトルを公開中です。

<http://www.tyg.jp/faculty/grad/masters.html>

## ■修了後の主な就職先（一例）

シティバンク銀行株式会社、藍澤証券株式会社、アディダスジャパン株式会社、王子コンテナ株式会社、その他の民間企業やNPO法人などだけでなく、海外でも活躍しています。

東洋学園大学 大学院主催  
女性教員による女性のためのセミナー女性の学び直しと  
キャリアアップ

グローバル化が進み激しく変化する現代社会で、自分らしく生きていくために、今、何をすればいいのでしょうか。大学院では、多様な環境で自分らしく輝いてきた3人の女性教員が講師となり、それぞれの経験から得た女性のキャリアやライフプランに関するヒントをお伝えするセミナー(全3回)を開催しています。

第1回は「女性が学び直すということ(講師:八塩圭子/東洋学園大学准教授、元・テレビ東京アナウンサー)」、第2回は「女性が海外で働くということ(講師:横山和子/東洋学園大学大学院教授、元・国際公務員)」をテーマに講演を実施。第3回は12/11(日)に開催予定で、同日にキャリア・進学相談会も行います。



第3回セミナー 12/11(日) 13:00～

## 「女性がキャリアを積むということ」

出産、育児を機に専任の英語教員から非常勤講師へ。専任教員に復帰後、子どものいじめに夫とともに立ち向かう日々を経て大学の学長に…。女性が働き続けることの大変さと共に、その意義について考えます。

場所: 東洋学園大学 東京・本郷キャンパス 1404教室 (予約不要、参加無料)  
講師: 原田 規枝子 (東洋学園大学学長)

## 出願対策講座 11/20(日) 13:00～

大学院への出願に必要な研究計画書、志望理由書、小論文についての対策講座を実施。書式や内容に関する注意点やアドバイスを、分かりやすく解説します。

場所: 東洋学園大学 東京・本郷キャンパス 1404教室 (予約不要、参加無料)

## お問い合わせ先

大学院経営セミナー、  
現代経営研究会に関するお問い合わせ

東洋学園大学総務部 TEL: 03-3811-1696

東洋学園大学ホームページ <http://www.tyg.jp/>

## 教育振興資金のお願い/入試

## 東洋学園大学教育振興資金協力のおお願い

東洋学園(旧制・東洋女子歯科医学専門学校、東洋女子短期大学、東洋学園大学)は、1926年(大正15年)の建学以来本年をもちまして、創立90周年を迎えました。これもひとえに皆様からのご支援・ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

本学は①時代の変化に応える大学、②国際人を育てる大学、③面倒見のよい大学、を目指

し、その実現の為に教育環境の整備・充実に日々努めております。2016年の入学生からは、全学部を東京・本郷キャンパスへ統合し、「一体型都心キャンパス」を実現いたしました。東京の中心という利便性に加え、教育資源を集約することで教育と研究の質が高まり、また、他学部生との交流の活性化や教職員のサポート体制も充実するなど、今まで以上に充実した学

びの環境を創出します。

創立90周年の節目にあたり、100周年に向けて本学を未来につないでいくためには教育機能のさらなる強化が必要であり、諸事ご多端の折、恐縮ではございますが、本学の募金活動への一層のご協力を切にお願い申し上げます。

東洋学園 理事長 江澤 雄一

## 募金目的

- 一、キャンパス教育施設設備の充実:  
校舎やグラウンド等キャンパスの教育環境の整備を行い、快適で、安全な教育環境を提供します。奨学金制度の充実:  
学業の奨励と経済援助を両輪として、留学時の負担軽減にも配慮して、有為な人材の育成に資するよう、心の通った奨学金制度を確立します。
- 二、教育・学術等の研究奨励、振興:  
教育・学術の研究奨励、海外派遣等に資する為、毎年度計画的に基金の増額を図り、効果的運用を推進します。
- 三、学生の課外活動の奨励:  
大学内のスポーツや文化活動を活性化し、東洋学園大学への愛校心がさらに高められるよう、全学をあげて支援します。
- 四、その他:  
教育研究の質的向上を図るため、ITを含めさまざまな面から施設環境の一層の充実を図ります。

募金目標額 2千万円

募集期間 平成28年7月～平成29年3月

## 寄付金種別

1口 1万円  
※金額の多寡に関わらずありがたくお受けします。ご寄付いただいた方は大学広報誌にお名前を掲載させていただきます。寄付申込書にて、掲載の可否をお知らせください。

## 募集対象

在学生とそのご父母等、同窓生とそのご家族、教職員その他本学関係者

## 申込・送金方法

別紙寄付申込書にご記入いただき、同封の封筒にてご返送ください。送金につきましては、同封の振込用紙をご利用いただくか、クレジットカードによりお振込みください。金融機関、クレジットカード会社からの入金通知を受けた後、大学より領収書をご送付申し上げます。なお、この募金は「任意」のものです。

## お問い合わせ先

学校法人 東洋学園 法人本部  
〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3 TEL 03-3811-1731

## 東洋学園大学教育振興資金寄付者ご芳名(敬称略・50音順)

(平成27年4月～平成28年3月までにご寄付いただいた方) 青野 賢太郎、阿部 真寿美、市川 真太郎、氏家 豪、内山 和美、逸藤 まつな、大内 繁男、小川 晃一、小原 真佐子、川崎 眞人、齋藤 裕子、酒井 治美、佐藤 誠、早苗 将文、鈴木 喜久江、須田 洋一、須藤 良一、關口 清、高橋 寿子、高柳 百合子、千田 佳光、遠山 麻希子、徳永 勝子、戸田 直子、名護 朝春、西田 啓作、野沢 剛、野村 和弘、藤土 雄三郎、森田 嘉彦、盛山 徹、門宗 玲子、八木 清互、吉里 賢二、一般財団法人フアンアジア財団代表理事 佐藤 洋治、本郷岩坂太鼓代表 藤沢 八洲彦、氏名掲載を許諾された方以外のご寄付者71名

## 東洋学園大学入学案内

本学では、校友の皆様卒業後も学びの場を提供し続けたいと考えております。編入学(3年次)や大学院、科目等履修制度などのキャリアアップ、リカレント教育の場を、学びの段階に応じて設けております。編入学、大学院入学に際しましては「入学金免除制度」をご用意しております。また、この「入学金免除制度」は皆様のご親族(二親等以内)が本学ご入学の際にもご利用いただけます。懐かしの学び舎が、皆様の新しい学びをサポートします。

## ■入学金免除制度

本学卒業生ご本人、在学生及び本学卒業生のご親族(二親等以内)が本学に入学の場合、入学金(300,000円)を免除する制度です。※人数の制限はありません。

## ■編入学(3年次) / 大学院

## 編入学(3年次) [2017年度]

各学部の専門分野への強い関心と学ぶ意欲を持つ方の入学を求めています。

## グローバル・コミュニケーション学部(本郷キャンパス)

グローバル化する世界を生き抜き、国際社会で活躍するために、世界についての専門知識や高い英語力を身につけます。▶グローバル・コミュニケーション学科 ▶英語コミュニケーション学科

現代経営学部(本郷キャンパス) ビジネスや経済の中心地で、実在する企業やビジネスを題材にケーススタディ。まさに「現代」の経営を学ぶ学部です。▶現代経営学科

人間科学部(流山キャンパス) 心理、カウンセリング、子ども、福祉、社会、スポーツ… いろいろな角度から人間を幅広く学び、人を支える社会に貢献する人を目指します。▶人間科学科

## 大学院

## 現代経営研究科 現代経営専攻(本郷キャンパス)

経営学における専門性と高度な知識を持つ職業人を育成するための高度教育機関です。※出願資格等については入試室までお問い合わせください。

## ■科目等履修生制度

東洋学園大学では、大学の持つ知的財産を広く社会に還元するために、科目等履修生制度を開設しています。大学院、学部ともに、開講される授業科目について、正規の学生の教育、研究に支障のない範囲において履修が認められ、単位取得が可能です。短期大学ご在学中に、教職課程を履修せながら課程修了に単位不足の方、新たな学問に取り組みたい方など、ぜひ本制度をご活用ください。本制度を利用して、日本語教員養成課程を履修し、課程修了を目指す短期大学卒業生もいらっしゃいます。卒業生が熱心に勉強に取り組む姿勢は、大学生にも良い刺激を与えてきています。なお、大学院では大学卒業、学部では高校卒業の資格を要するなど、本制度の詳細は以下にてご確認、お問い合わせください。

※検定料等

	検定料	受講料	単位認定料
大学	10,000円	5,000円(1単位当り)	10,000円(1科目当り)
大学院	10,000円	10,000円(1単位当り)	10,000円(1科目当り)

## お問い合わせ先 教務課

本郷キャンパス【TEL】03-3811-1785 流山キャンパス【TEL】04-7150-3068  
<http://www.tyg.jp/faculty/complete.html>

## お問い合わせ先

編入学、大学院入試、入学金免除制度について 入試室 0120-104-108(フリーダイヤル) E-mail: nyushi@of.tyg.jp  
受付時間: 平日(月～金) 9:00-17:00 / 土曜日9:00-13:00 ※大学の定めた休日を除く

東洋学園校友会ホームページ <http://tgblog.tyg.jp/koyukai/>

## インフォメーション

## 卒業生に開かれた学び

東洋学園大学では「開かれた大学」を目指し、研究・教育の蓄積を皆様と広く共有するべく、研究会や公開講座を開催しています。

## 現代経営研究会

企業の皆様と本学教員との相互研鑽、交流を通じ、現代の経営諸問題について研究し、生きた経営ノウハウを蓄積したいと考え、2008年に大学院創設と同時に「現代経営研究会」を発足いたしました。本研究会は、無料でどなたでもご参加いただけます。詳細はHPをご覧ください。 <http://www.tyg-business.jp/>  
開催場所：東洋学園大学 本郷キャンパス 1号館 2階 フェニックスホール  
※講演は18:00～19:30で聴講無料。講演会の後、懇親会（年間会員無料、当日参加お一人様あたり500円）を予定しています。

- 11月8日（火） 講師：株式会社A and Live 代表取締役（株式会社ジャパネットたかた 前社長）高田 明氏  
演題：『夢持ち続け日々精進 ～伝えることの大切さ～』  
※この日の懇親会はございません
- 11月9日（水） 講師：株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼社長 堀場 厚氏  
演題：『日本発イノベーションとリーダーシップ』
- 11月16日（水） 講師：ピースマインド・イーブ株式会社 代表取締役社長 西川 あゆみ氏  
演題：『従業員支援サービス（EAP）起業とこれまでのあゆみ』
- 12月14日（水） 講師：株式会社メニコン 取締役代表執行役社長 田中 英成氏  
演題：『創業から拘る「創造・独創・挑戦」』

## 公開教養講座（流山）

学内外の講師を招き、現代社会に焦点をあてたテーマで講演していただきます。  
**（5月～12月開催、全7回）** <http://www.tyg-koukai.jp/>

- 11月12日（土） 講師：国立スポーツ科学センター 山田 亜沙妃氏  
演題：『進化するスポーツの現場』
- 12月3日（土） 講師：東洋学園大学教授 朱 建榮氏  
演題：『第19回党大会を迎える習近平政権 ——その内政、外交と日中関係』

13:00～15:00、流山キャンパスにて  
各回1,000円、予約不要。直接会場へお越しください。

お問い合わせ先 東洋学園大学 公開教養講座受付係  
【TEL】 04-7150-3001（代）

※流山キャンパスでは、英語や中国語などの語学講座をはじめ、テニス、心理学など本学の特徴を活かした講座、絵手紙や色を使ったイメージアップセミナーなど年間100講座を超えるエクステンションプログラムを開講しています。  
来年度の講座詳細については、決定次第HPにてお知らせいたします。 <http://www.tyg-ex.jp/>

## 学内施設利用について

## 図書館利用のご案内（本郷・流山）

利用登録をすれば卒業生も本学図書館を利用することができます。登録は無料。卒業を証明するもの（学位記またはそのコピー、大学からの郵便物、卒業証明書等）を図書館カウンターまでお持ちください。

## 【利用できるサービス】

閲覧、文献複写、貸出（図書のみ3冊まで、期間：2週間）  
詳しくは図書館ホームページをご覧ください。 <http://www.lib.tyg.jp/>

## 史料室のご案内（本郷）

東洋学園創立90周年・前身校開校100周年記念シリーズ2  
「創立期の東洋女子歯科医学専門学校 I  
—明華女子歯科医学講習所から明華女子歯科医学学校へ 1917～1920」

2016年5月30日～12月2日 解説書 無料

【場所】 本郷キャンパス4号館6階

【開館日】 月～金 9:30～16:30

詳しくは東洋学園史料室ホームページをご覧ください。 <http://www.tyg-archives.jp/>

## 東洋学園大学同窓会からのお知らせ

## ～異動調査ご協力をお願い～

東洋学園大学同窓会からのお知らせです。すでに本会会員の皆様のお手元には本年度の会報、異動調査票（対象卒業期のみ）など一式が届いているものと存じます。異動調査につきましては、本会HP (<http://tgual.jp/>) から随時受け付けておりますので、本年度が対象となっていない皆様におかれましても、ぜひともご協力をお願いいたします。

いただきました会員情報につきましては、厳重な管理を行った上で、同窓会の主旨に基づき、本会の活動、学園、母校の発展、および在学生の後援のために活用させていただきます。

お問い合わせ先 東洋学園大学同窓会室（原則毎週木曜日）  
【住所】 〒270-0161 千葉県流山市鮫ヶ崎1660 【HP】 <http://tgual.jp/>

## 東洋女子短期大学同窓会からのお知らせ

事務局は諸般の事情により、活動形態を改めました。皆様からのお問い合わせには、常任幹事会等の折に対応させていただきますので、お返事にはしばらくのご猶予をいただけますようお願いいたします。なお、住所変更や会報に掲載する記事につきましては従来通り、随時ご連絡ください。メール、FAX、郵送等にて、同窓会室までお願いいたします。

お問い合わせ先 東洋女子短期大学同窓会室  
【住所】 〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3 東洋学園大学内  
【TEL/FAX】 03-3811-5102 【E-mail】 [dosokai@ec.tyg.jp](mailto:dosokai@ec.tyg.jp)  
【HP】 <http://www.tyg.jp/graduate/index.html>

## 各種証明書の発行等について

## 各種証明書（卒業証明書、成績証明書）の発行

所属
・大学〔人文学部〕2007年（平成19年）4月以降の卒業生 ・大学〔現代経営学部〕卒業生 ・大学院〔現代経営研究科〕修了生 ・短期大学〔英語科、英文科、英語英文科〕卒業生 ・短期大学〔専攻科〕修了生
申込先
東京都文京区本郷1-26-3 本郷キャンパス教務課

所属
・大学〔人文学部〕2007年（平成19年）3月以前の卒業生 ・短期大学〔欧米文化学科、英語コミュニケーション学科〕卒業生
申込先
千葉県流山市鮫ヶ崎1660 流山キャンパス教務課

\*郵送での申し込みと窓口での申し込みができます。ただし卒業キャンパス以外での発行はできません。詳細はホームページをご覧ください。

【HP】 <http://www.tyg.jp/graduate/certificate.html>

\*個人情報の変更は各同窓会へご連絡ください。

## 校友会事務局より

校友各位のお手元に小紙が届く11月、東洋学園は創立90周年を迎えます。創立80周年を記念して刊行した『東洋学園八十年の歩み』を機に、歯科医専、旧制高校、短大、四大という四校のつながりを改めて大切にしたいと考えてまいりましたが、こうして多くの校友の皆様を支えられながら90周年を迎えられたことをとても嬉しく思っております。100周年に向け、引き続きご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

【企業で活躍する卒業生の方へ】 就職活動中の学生によるOB・OG訪問を受け入れてくださる方を募集しています。業界や企業への理解、就業観等を伝えてくださる方、または、就職支援の積極的に関わっていただける方は校友会事務局までご連絡ください。

## 校友会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3  
東洋学園大学 本郷キャンパス1号館2階

TEL 03-3811-1072

E-MAIL [koyukai-info@tyg.jp](mailto:koyukai-info@tyg.jp)

ホームページ <http://tgblog.tyg.jp/koyukai/>